

言語・文学委員会分科会の設置について

分科会等名： 古典文化と言語分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	言語・文学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>言語・文学委員会の設定した課題「日本語の将来への提言」のための作業部会として、「古典」をどのようなもととしてとらえ、教育してゆくべきかを検討する。</p> <p>現在日本語が直面しているかつてない急速な変質の中で、日本語のスタンダードをどのように設定するかということは緊急の課題である。この委員会では、日本の伝統のみならず、西洋諸言語と文化、ギリシア・ローマ古典文化、中国の古典文化など、幅広い領域を専門とする会員、連携会員の協力のもとに、固有の文化的伝統とその言語との関係を整理し、一般的な問題点を浮かび上がらせたいうえで、現在の我が国の国語教育をも視野におき、日本語のクラシックとしての「古典」とは何かという問題を審議する。</p>
4	審議事項	日本の「古典」の構築のための方法論・理論についての審議に関すること
5	設置期間	<p>期限設置 年 月 日～ 年 月 日</p> <p><input type="checkbox"/> 常設</p>
6	備考	